

テーマ

地域人材の力によって、協力し合える心豊かな子どもを育てよう

目標

- ・奈良の文化や伝統などのよさを知り、地域に誇りをもつ子どもを育てる。
- ・学習意欲や科学的な思考を育て、自ら考え、正しい判断ができる子どもを育てる。
- ・どのような環境でも挫けない強い意志と体力、豊かな心をもった子どもを育てる。
- ・親子、家族で楽しめるイベントを行い、ともに感動を分かち合える機会をつくる。
- ・幼児児童生徒が地域で協力し、小さな地域単位でボランティア活動などを行い、よりよい人間関係づくりを進める。

今年度の取組紹介

・【歴史ウォーク】「奈良の文化・伝統のよさを知ること」を目標に、11月3日（祝）に、「佐紀古墳群より平城宮跡」を歩きました。

当日は、「NPO法人 なら・観光ボランティアガイドの会〈朱雀〉」の方々のガイドにより、歴史のエピソードを聞きながら楽しくウォーキングしました。参加者は約140人にのぼり、郷土への愛着が育まれました。

・【平城高校生と遊ぼう！】1月23日（土）に北部会館で実施しました。平城高校生の発表と、今年は小学校・中学校からの発表もあり、行事は大いに盛り上がりました。幼児から高齢者まで700人以上の参加がありました。幼小中高校生が一堂に会する企画は、異年齢の交流を進め、大きな成果をおさめています。



今年度のまとめ

【歴史ウォーク】では、100人以上の参加者があり、秋空の下、自分たちが住む校区周辺及び奈良の歴史を学び、奈良のすばらしさを実感するという成果がありました。

【平城高校生と遊ぼう！】は、今回は、小学生・中学生の発表があり、昨年と比較すると参加者数が大幅に増加し、約700名となりました。内容も、幼児から高齢者まで楽しめるもので、バラエティに富んでいました。この事業により、高校も含んだ地域のコミュニティの深化や感動体験という成果がありました。

来年度に向けて

基本的には、今年度と同様の事業を展開する予定であるが、【歴史ウォーク】は、マンネリ化しないように、新たな工夫が必要です。【平城高校生と遊ぼう！】企画を早く進め、小中学校の取組を充実していく必要があります。

テーマ

知ろう、地域のすばらしさ！本物に触れる感動

を子どもたちに！

目標

地域の社会人から直接、学ぶ機会を増やし、キャリア学習、平和学習、国や郷土の文化・伝統を学ぶ等の機会をもち、体験的な活動を行うことによって生きた力を身に付けさせたい。また、学校や地域の環境整備のための生徒のボランティアを活発化させ、社会に役立つ経験をもたせる。さらに、そのようにして身に付けた力を生かして生徒自身や集団で活動の成果をまとめ、地域の方々などに向けて発表させる。

今年度の取組紹介

【地域に開かれた文化発表会】では、学校の取組を地域に発信する機会としました。1年学年合唱、2年合唱コンクール・学年合唱、3年学年劇や吹奏楽部演奏を舞台で行い、各教室で科学部の実験や文芸部や学年・教科の展示発表が行われます。

【本物に学ぶ 講師招聘事業】

1学期に、2年生で新聞記者・マナー講習会で講師を招く、2学期には3年生で尺八の演奏鑑賞及び体験を実施しました。日本の伝統音楽に触れる貴重な体験となりました。

【クリーン大作戦】

本校生徒の有志100人以上が、校区内のゴミ集め・清掃活動を行いました。100人以上の生徒が集まりました。



今年度のまとめ

【地域と歩む文化発表会】当日は多数の保護者・地域の方が見に来られ、生徒の頑張る姿を見ていただき、称賛の声をいただきました。地域と学校との繋がりをより深いものにできました。

【本物に学ぶ 講師招聘事業】では、直接、社会の第一線で活躍される記者の話を聞いたり、社会人としてのマナーを学んだり、日本の伝統音楽を学習する良い機会になり、生徒たちが「自分たちが生きている日本についてのすばらしさを実感するとともに、誇りをもった」と感想を述べており、一定の成果があったと考えています。

【クリーン大作戦】に参加した生徒から、「清掃をしている時に、地域の方から声をかけていただきうれしかった。」と述べる生徒もいて、地域への感謝の気持ちや社会に役に立つことの満足感を体験したと考えています。

来年度に向けて

基本的には、今年度の事業を継続・発展させていきたいです。地域の方とふれあう機会を増やすことで、生徒の心に自己有用感を育てていくことが課題です。

テーマ

心豊かに いきいき 輝く 朱雀っ子

目標

「人」「物」「地域」との様々な出会いや体験を通して、感性豊かな心を育てる。

今年度の取組紹介

おもしろ理科実験教室 / 天体学習

今年度も4・5・6年生にゲストティーチャーを招き、理科を楽しみ、興味を持てる取組を行いました。

地域の理科研究会の先生方が、5・6年生を対象に楽しい理科実験をしに来てくださいました。電磁石の仕組みについて教えてくださったり、浮沈子と一緒に作ってくださったりし、子どもたちは、ますます理科に興味を持つことができました。また、4年生にもゲストティーチャーを招き、季節ごとの天体の変化や星座についての学習をしました。



お話の会 / 図書環境整備

今年度も全校の児童が図書に興味を持てる取組を行いました。

毎月1・2年生を対象に、すごくお話の会の皆さんが、楽しい本の読み聞かせをしてくださっています。物語の世界に引き込まれるような雰囲気作りも工夫され、とても上手に朗読されるので、聞いている子どもたちは、すっかり物語の世界へ。次はどんなお話をしてもらえるのかとても楽しみにしています。また、全校を対象に図書ボランティアの方が図書室の本の整理や紹介、季節ごとの装飾などをしてくださり、子どもたちが図書室へ足を向けたくなる工夫をしてくださっています。



今年度のまとめ

本年度も「音楽会」と「作品展（朱雀っ子展）」に地域の方や普段お世話になっているボランティアの方々を招待しました。以下は、その感想の一部です。

「音楽会の感想」・「音楽で心がひとつ」になりますね。素晴らしい音楽を聴かせて頂いてありがとう。

- ・この音楽会では何時も新しい曲と詩に出会います。そして詩のよさには、感動の一言です。子供たちに優しい思いやりのある心が生まれるように思います。

「作品展の感想」・毎年楽しみに来させて頂いています。子どもたちの明るいパワーに将来への夢が広がります。

- ・保・幼・小・中の繋がりが、温かさを感じます。

来年度に向けて

地域の方に学校へ来ていただき、子どもたちとふれあう機会を通して、子どもたちも地域の方をより身近に感じることができ、「街で出会ってもあいさつをしてくれる子どもが増えました。」という声も聞かれるようになってきました。次年度もさらに地域の方とふれ合える機会を多く持っていきたいと思います。また、小中一貫教育を踏まえ、中学校と共に地域とより深く連携した取組を追及していきたいと思っています。

テーマ

地域と共に笑顔いっぱい元気いっぱい佐保台っ子

目標

様々な感動体験を通して、児童一人一人に豊かな心を育む

今年度の取組紹介

今年度も環境美化活動事業、地域に学ぶ体験学習事業、読書活動事業、ICT学習事業、人権福祉体験学習事業等の取組を地域の方やゲストティーチャーの方の支援をいただきながら進めました。環境美化活動事業では環境委員会が中心となり栽培活動に取り組みました。花の苗植や草刈り、草引きなどの作業に汗を流し、稲やイモの栽培で収穫の喜びも体験することができました。また、地域に学ぶ体験学習事業の一つとして、JR平城山電車区に協力いただき電車区内の美化運動に協力し、2年生が花の苗植を行いました。ICT学習事業では、電子自治体アドバイザークラブの方々の協力で、全学年でICTを活用した学習を進めました。低学年は「お絵かきや簡単なお手紙・カレンダー作り」、中学年は「ワードを使っての自己紹介文や年賀状作り」、高学年は「パワーポイントを使ってプレゼンテーションや簡単なプログラムを使って動画作成」など、系統立てたパソコンのスキルを学び、児童のプレゼンテーション力の向上を図ることができました。読書活動事業では、地域の図書ボランティアの方の協力を得て、図書室の環境作りや絵本の読み聞かせ等の読書活動を推進した。また、月の光さんを今年も招いて低高別に読み聞かせを行い、子どもたちに相手を思いやる深い心と生きる力を育みました。人権・福祉学習事業では助産師さんを講師に招き、性教育出前授業として命の大切さを学び、相手を思いやる心やユニバーサルデザインについての考えを深めることができました。



今年度のまとめ

学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育にあたりとともに、子どもたちの体験活動を通しての魅力ある取組を行いたいと考えました。そして地域や親子とのふれあいを支援し、地域のすばらしい人材を広い意味で活用し連携を深めました。この取組により、自分たちが住む地域に目を向け、自分たちの郷土を愛する子どもたちが育つものと思います。また、これらの活動を通して情報・福祉・環境・国際理解教育の推進にも力を注いでいき、子どもたちに豊かな心を育みたいと考えます。

来年度に向けて

様々な体験活動を地域の方々の支援を得ながら進めることができ、教室だけの学習では得難い多くの感動と学びがありました。このような取組は、継続的に進めてこそさらに大きな効果が表れてくるものと思います。また来年度も活動内容を工夫し、発展継続していきたいと考えます。

テーマ

地域へ発信！つながる左京

目標

地域の方々との体験活動を通して、地域を愛せる児童の育成を図る

今年度の取組紹介

平成27年10月19日（月）

「子ども安全の家スタンプラリー」

子どもたちの防犯意識の向上と、地域内の絆を強めることをテーマとして実施しました。

子どもたちがグループ毎に、子ども安全の家旗設置者宅を訪ね、設置者と触れ合いながら校区内をラリー。その後、防犯教室、紙ルービックを実施しました。

多くのボランティアや旗設置者の協力を得、保護者、教職員、警察や教育委員会等の関係機等も一体となって和やかな雰囲気の中で実施したこの取組は、児童の防犯意識の向上はもとより、地域と学校がともに子どもを育てるという協働意識の高まりにもつながりました。



今年度のまとめ

- ・ 地域と学校が一体となって、子どもたちが地域に愛着を持てる取組を実施することができた。
- ・ 地域の人材を生かした取組を実施することによって、子どもたちと地域の方々の双方が感動体験を持つことができました。
- ・ 子どもたちが休日や昼休みを有意義に過ごすことができました。
- ・ 学校の授業を拡充できる取組が行えました。
- ・ 子どもたちのコミュニケーション能力、規範意識、防犯意識が高まりました。
- ・ 地域の方々の学校教育への理解が深まり、協力意識が高まりました。

来年度に向けて

来年度も本年度の取組を継続して実施していくことを基本とし、さらに多くの子どもたちと地域の方々が参加できるように工夫すると同時に、新たな取組の企画を進めたいです。また、事業への参画者がふえるように、広報活動や啓発活動に努めていきたいです。

テーマ

いきいき・わくわく・笑顔あふれる、すざくっこ

目標

優しい心・思いやりの心・感動する心を育む。**体を動かす心地よさ・夢中になって遊ぶ楽しさを味わう。**

今年度の取組紹介

【地域の名人さん（おもしろ不思議実験）】

地域力を生かし“地域の名人さん”と一緒に、紐の手品や色水実験大空気砲などの「おもしろ不思議実験」をしました。色水実験では、「赤色と青色を混ぜたら紫になる！」など日々の絵画活動から子ども達が知っていることを進んで伝える姿が見られました。大空気砲では空気砲の出口の形と同じ形の煙が出てくるかどうか、わくわくしながら見つめる姿があり、『煙の出口の形が三角や四角でも、丸い煙しか出ない』という不思議さを学びました。また、ペットボトルと風船で作ったミニ空気砲は、ゲーム遊びとして家庭でも楽しむことができました。どの活動も小学校につながる、貴重な取組となりました。

**【体操教室】**

体操の専門講師を招き、年3回、パワフルに体を動かし夢中になって遊びました。親子体操教室では、パラバルーンを使って触れ合いやコミュニケーションを楽しみ、家族や異年齢とのつながりを深めることができました。



また、“ラダー”を使って、両足跳びや片足跳びなどいろいろな跳び方をする中で、リズムに合わせたり、バランスを取ったりして、体の感覚統合を養う動きを体験しました。この事業を通して、家族・未就園児と一緒にのびのびと体を動かす心地よさや、夢中になって遊ぶ楽しさを味わうことができました。



今年度のまとめ

ゲストティーチャーを招いての事業では、遊びの中から楽しく自然に専門的な知識を身に付けることが出来ました。また、地域の名人さんや環境ボランティアさんとの触れ合い、異年齢・高齢者の方との交流では、子どもたちの心が豊かになり、優しい心、思いやりの心、感動する心が育まれました。地域の方からは、事業を通して、「子どもたちから元気をもらった」という嬉しい声をいただき、互恵性のある取り組みとなりました。

来年度に向けて

今後も、様々な事業が子どもたちにとって“いきいき・わくわく” 学びや育ちにつながる充実したものとなるよう、園・保護者・地域が一体となって協力し合い連携を密にしていきたいと思ひます。

テーマ

心豊かに育ち合う楽しい園

目標

わくわく・ドキドキ心を動かす体験活動を通して、生き生きと生活する心豊かな園児を育てる。

今年度の取組紹介

【 お茶会 】

職員がお茶の先生となり、地域の方をお招きしてお茶会を実施しています。昨年経験している幼児はとても楽しみにしていました。お茶の先生や地域の方のお作法を見せていただき、5歳児は点てたものを友達に振る舞い、4・3歳児は点ててもらったお茶をいただき、日本の文化に触れる貴重な体験となりました。また、保護者の声から、家庭でも真似てみたり喜んで話している様子が伺えたり、普段できない経験ができると喜んでいただいています。



【 おもしろ理科実験 】

継続して実施している『平城 NT 楽しい理科実験研究会』の方に今年度は園庭で“ペットボトルロケット”をしていただきました。空高くペットボトルのロケットが飛ぶたびに、子どもたちは拍手をして歓声を上げていました。また幼児だけでもできる科学遊び“もしもしふうせん”“ペットボトル空気砲”を年齢別に教えていただきました。それを家庭に持ち帰り、家族で楽しむこともできました。科学の楽しさを幼児でもわかるように、折り紙や身近な素材を使ってわかりやすく話していただいたり、毎年違う内容を企画していただいたりして、幼児の心に残る体験となっています。



【 左京の森活動 】

「左京の森」での活動は、歩くことが少なくなった現状の中、自然を眺めながら往復するだけで幼児たちにとってはよい経験になっています。また、雑草を抜いたり土を触ったりすることで自然に触れる機会や、世話をさせていただいている地域の方に感謝の気持ちをもったり、食育につながったりすることができました。

今年度のまとめ

今年度より「こども園」になりましたが、今まで通り左京地域や佐保台地域の方々などたくさんの方々に協力していただき、幼児の心に残る様々な経験をすることができました。地域や様々な方と触れ合い新しい経験をすることは、物事に感動する心が育成されたり、思ったことや感じたことを伝えたりする姿につながっていきます。

来年に向けて

地域の教育力を十分生かせることができるように、情報の収集をしていきたいと思います。

幼児の心動かせるような感動体験ができるよう、職員を始めコーディネーターや地域の方々との連携を図っていきたいと思います。